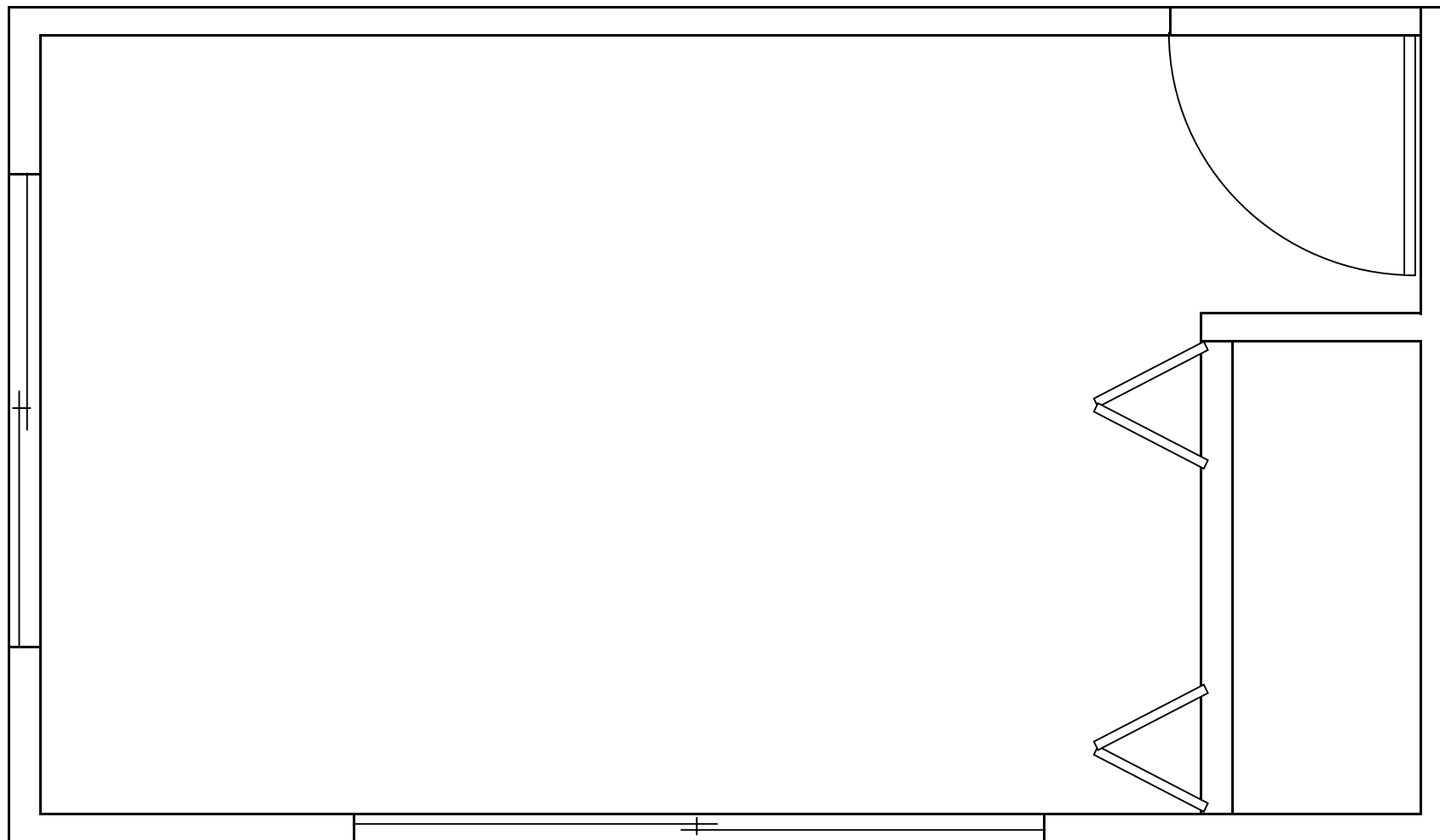
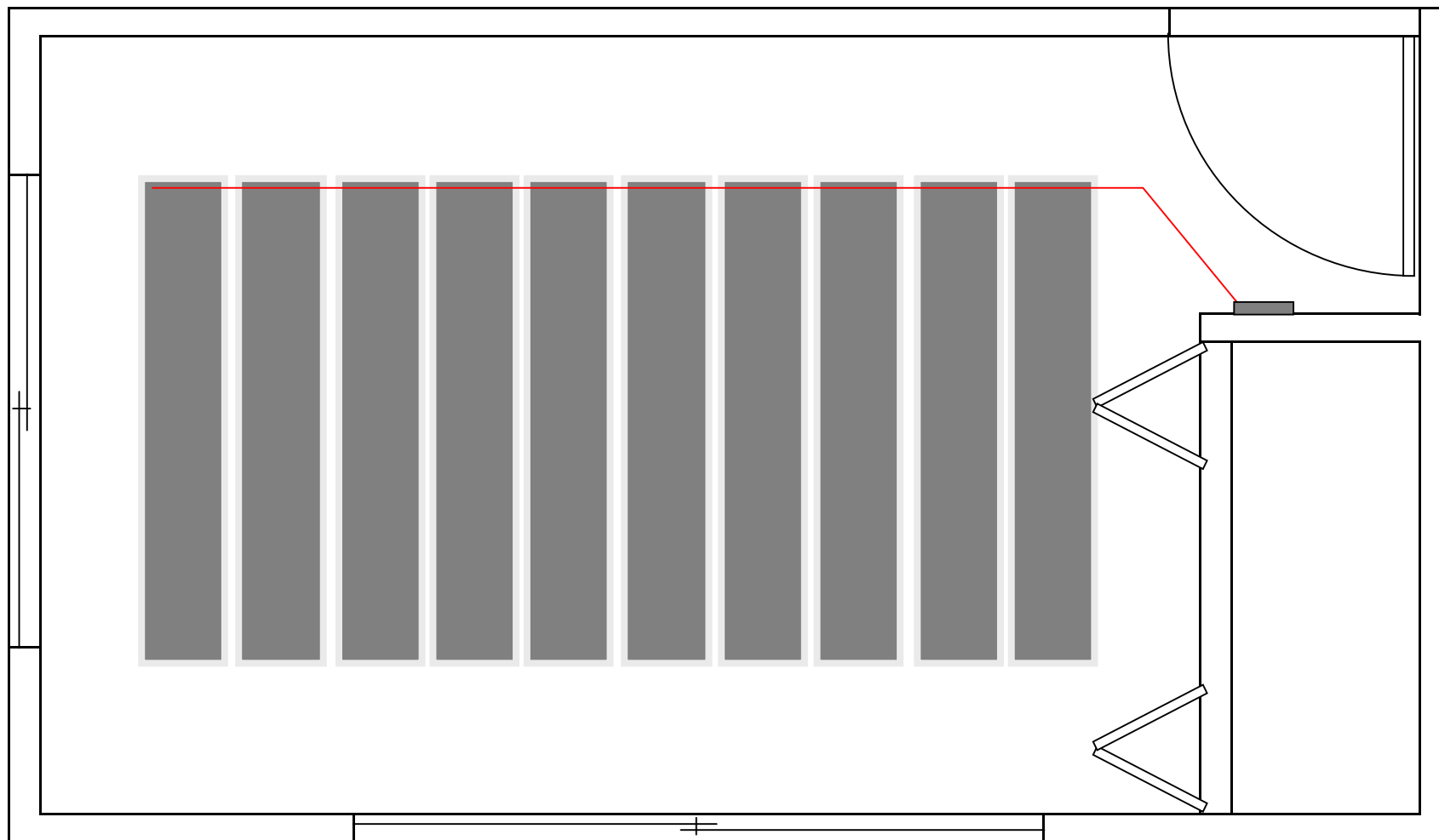


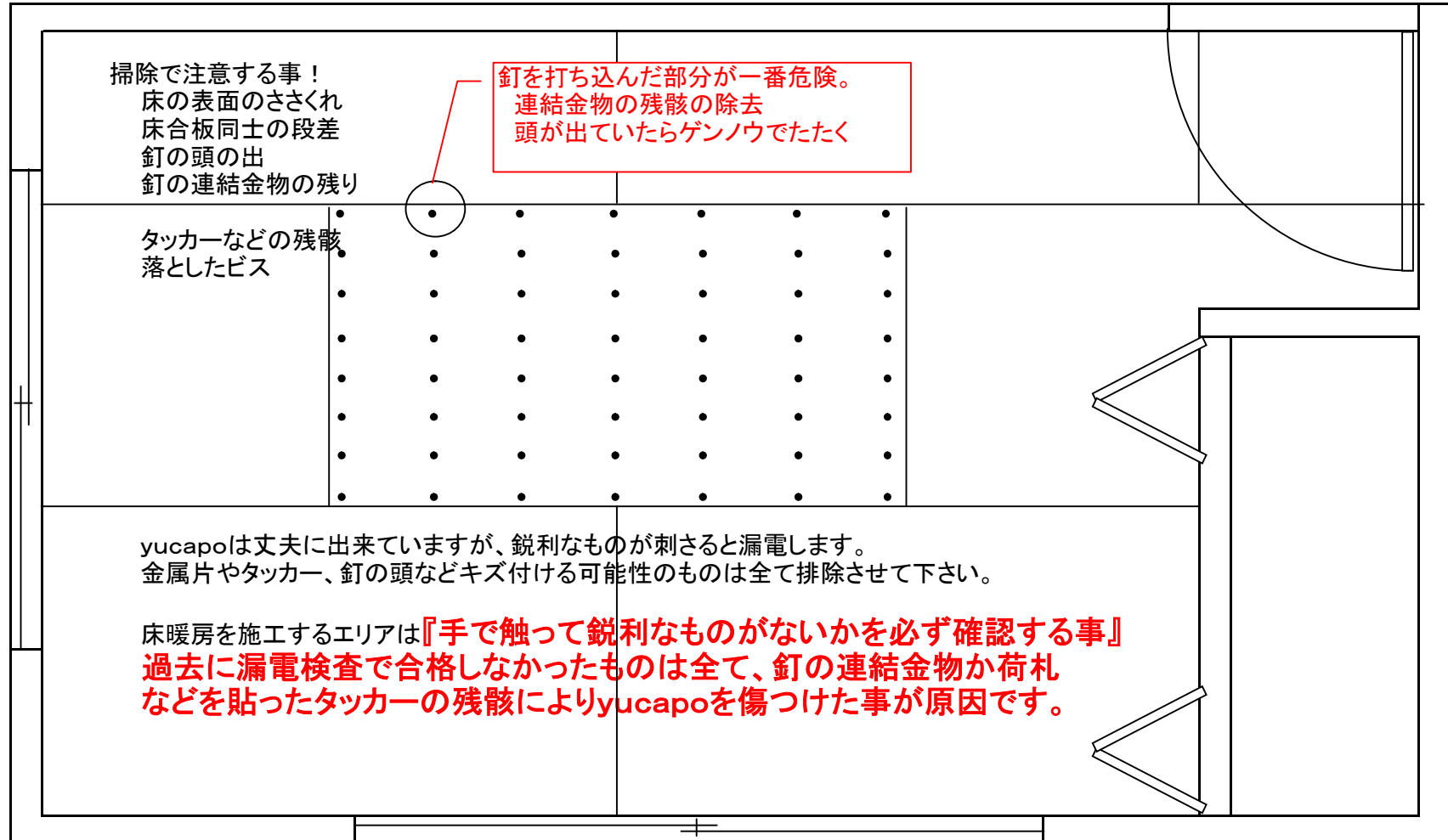
下記の居室にyucapoの見積依頼が来ました。



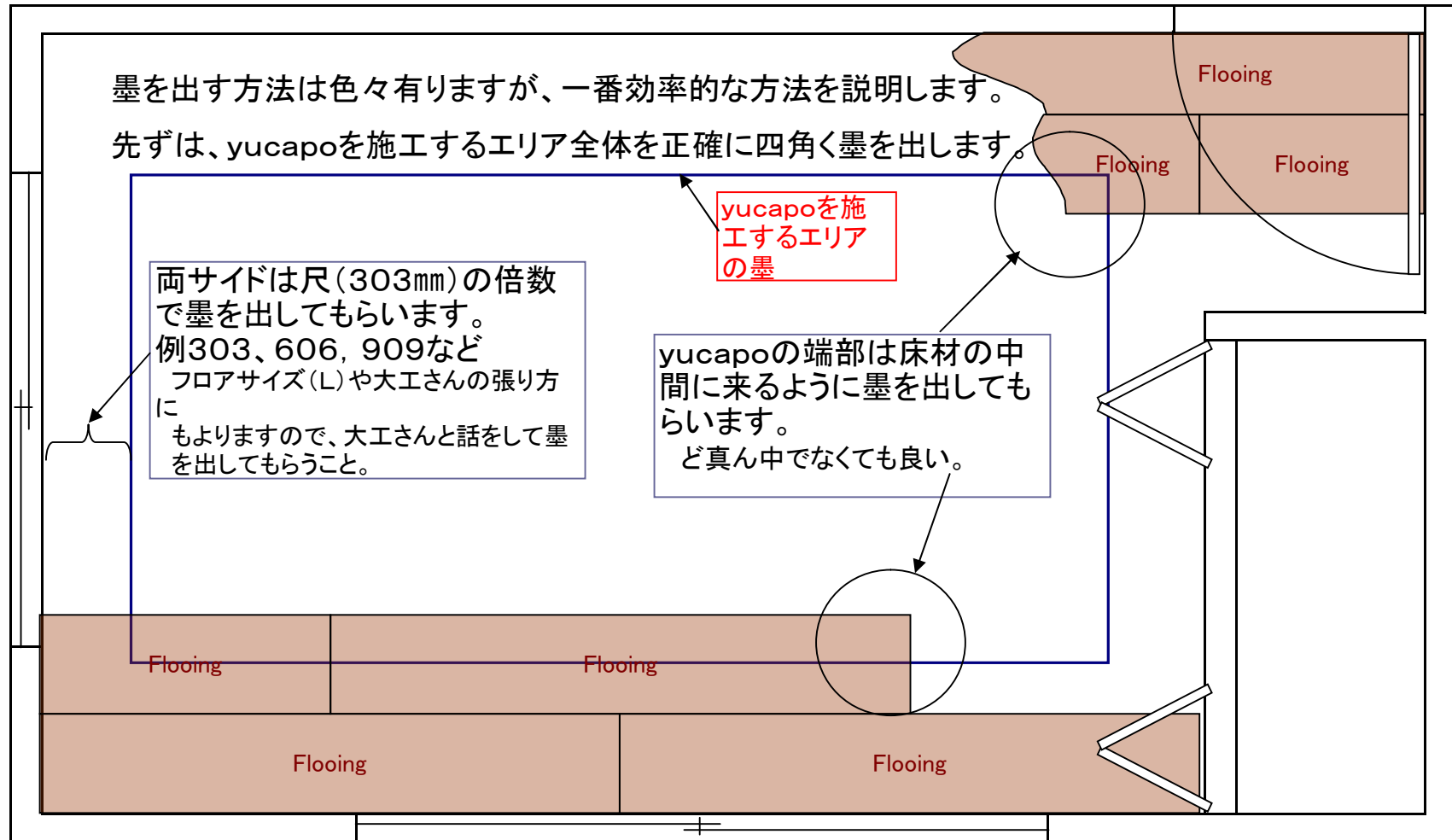
プランとしては概ね下記の通りになります。受注をしたらこの通り加工して納入します。



先ず最初に、掃除をします。

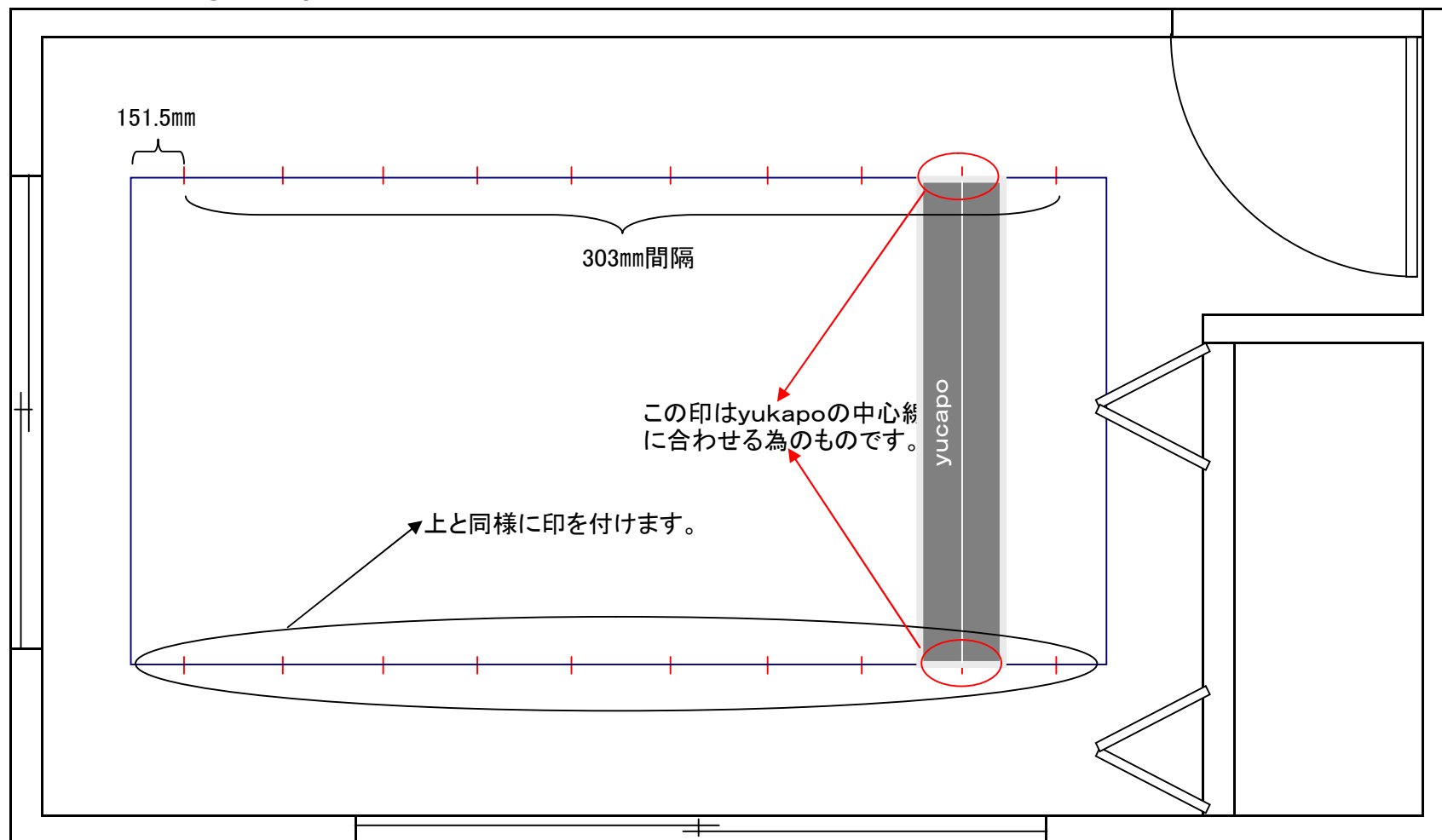


次に、大工さんに墨をを出して貰います。

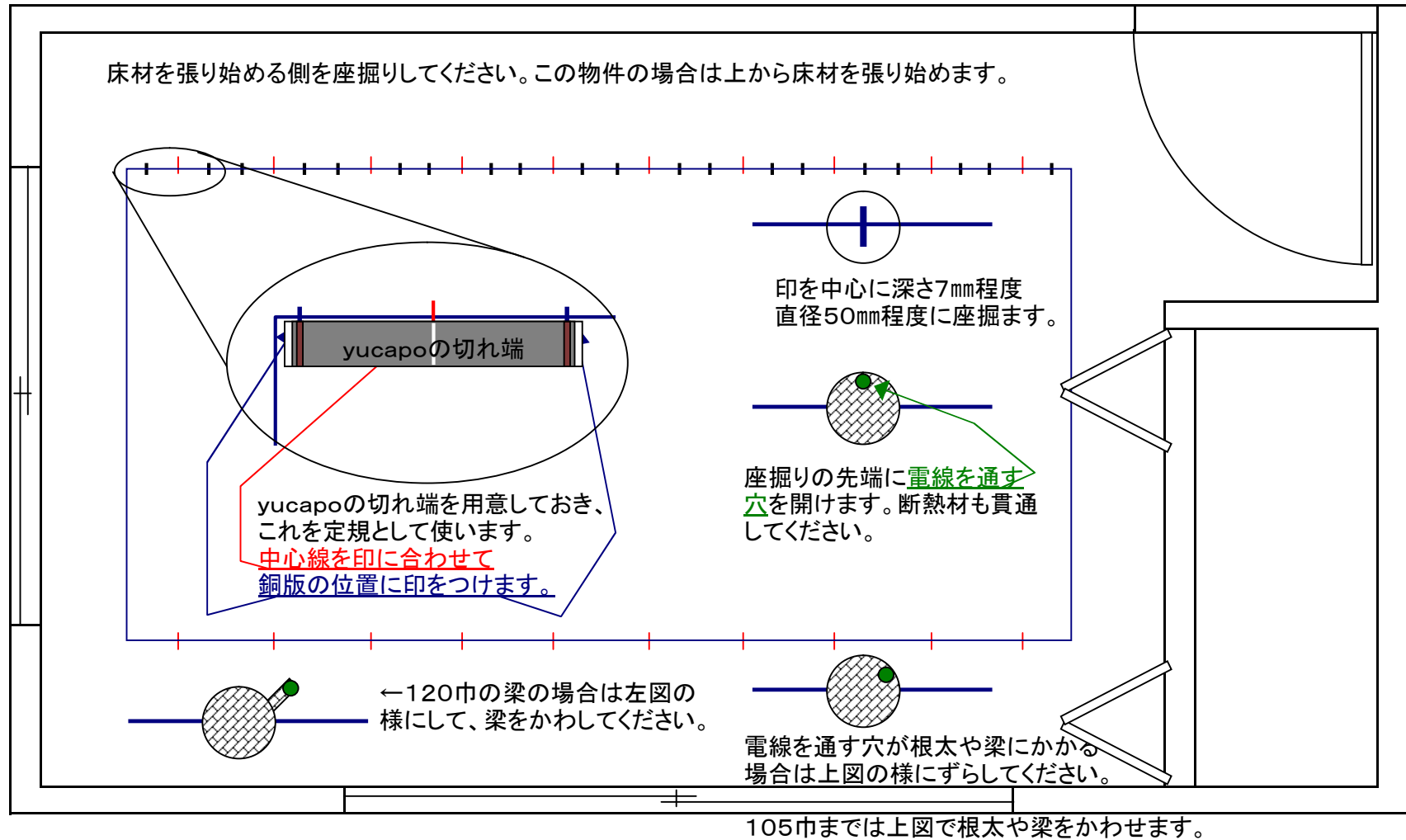


イレギュラーなケースとしては、長さが1818mm以外の床材や幅が303mm以外の床材(無垢など)があります。この場合はyucapoに釘が刺さらないように、yucapo本体の現物を見せながら墨を出して貰って下さい。

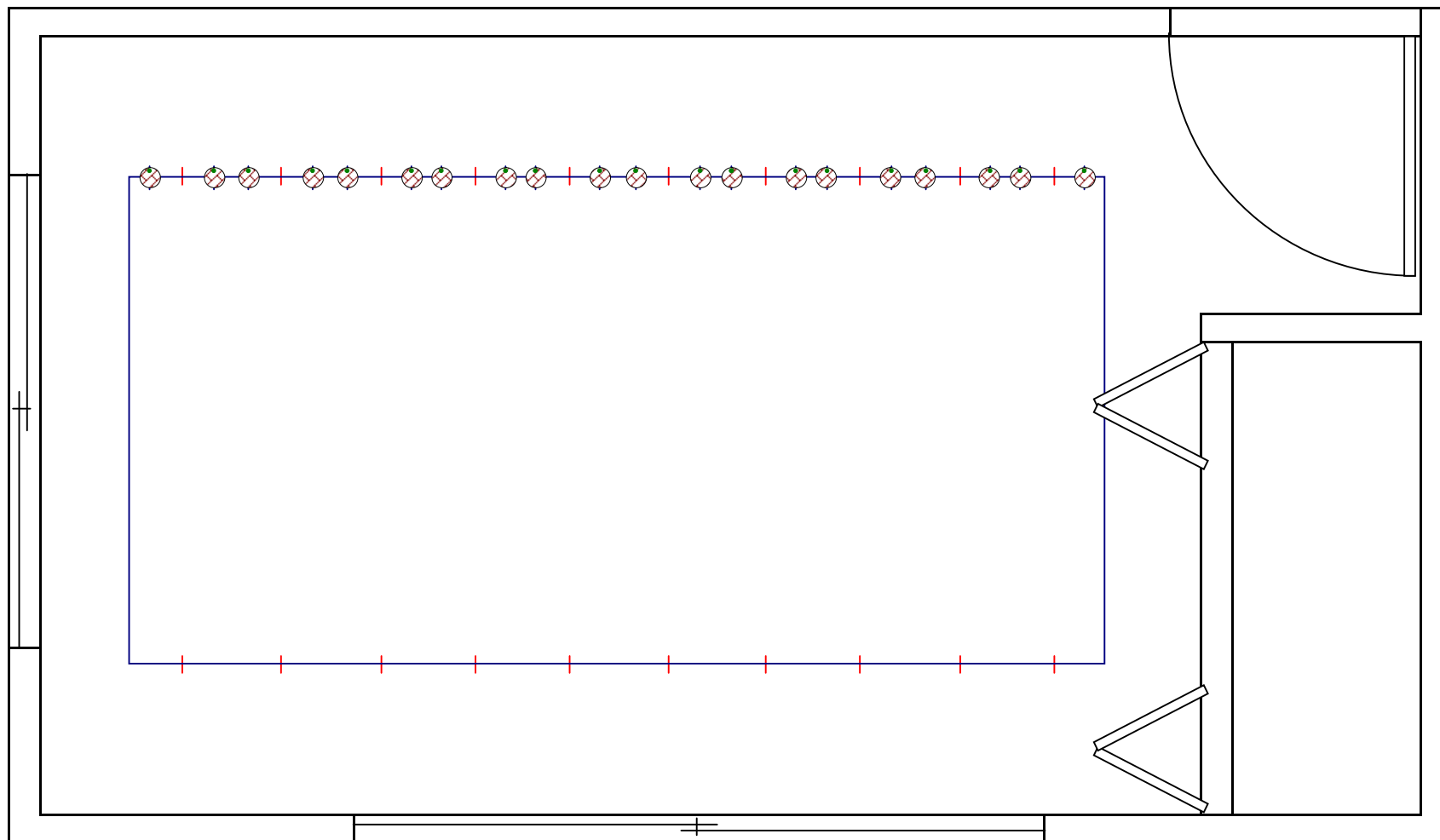
次に、端から151.5mm(5寸)の位置に印を付けて、そこから更に303mm(1尺)間隔で印をつけます。この印は、yucapo本体の中心線に合わせることになります。



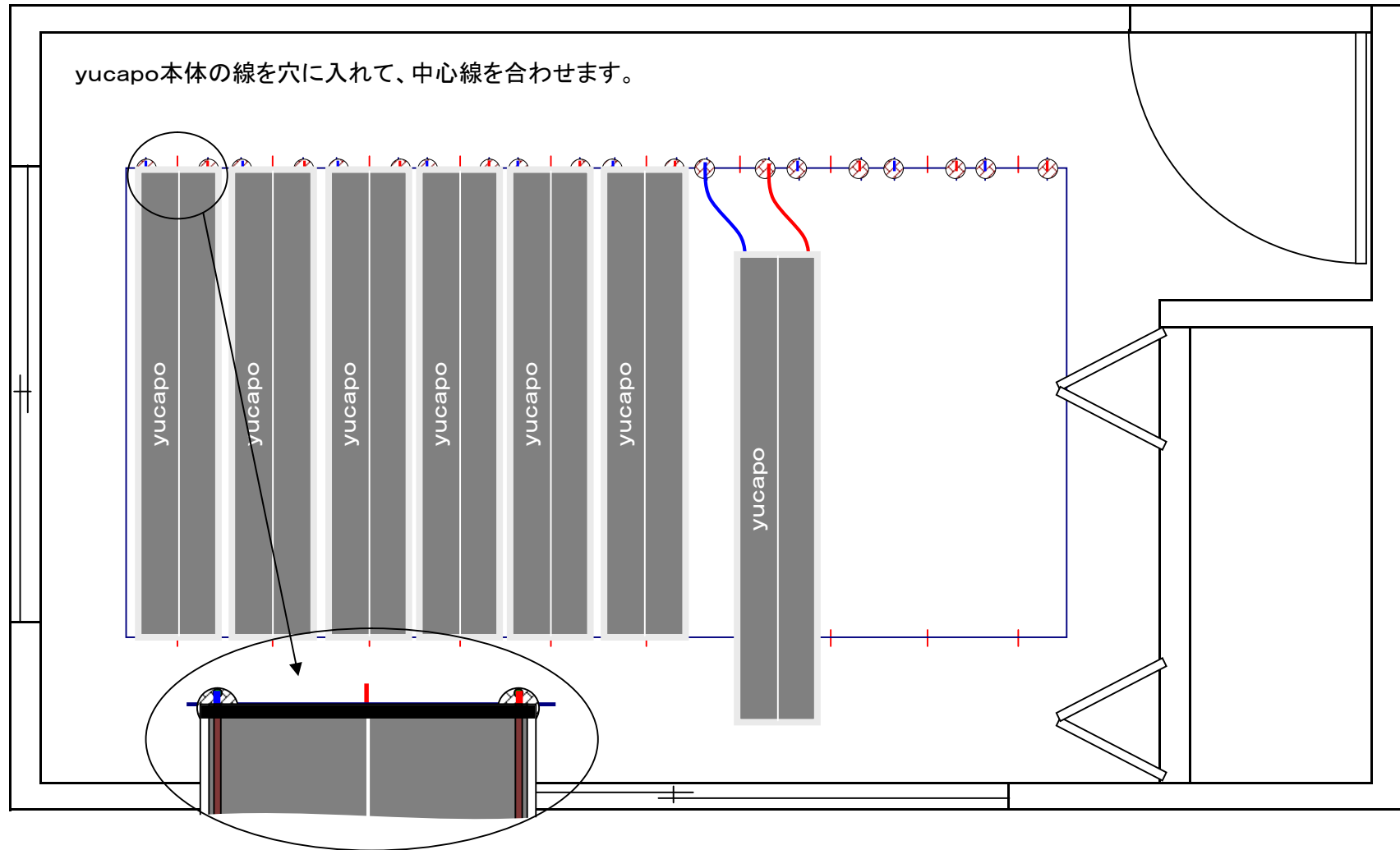
次に、座掘り位置に印を付けます。印を中心にして、座ぐりカッターなどを用いて座掘りをします。座掘りの先端は10mm程度の穴を開けます(電線を床下に通す穴)。



座掘りによって出た木屑などを掃除してください。再度、釘や鋭利なものが無いかのチェックをして下さい。これで下地の処理は終了です。

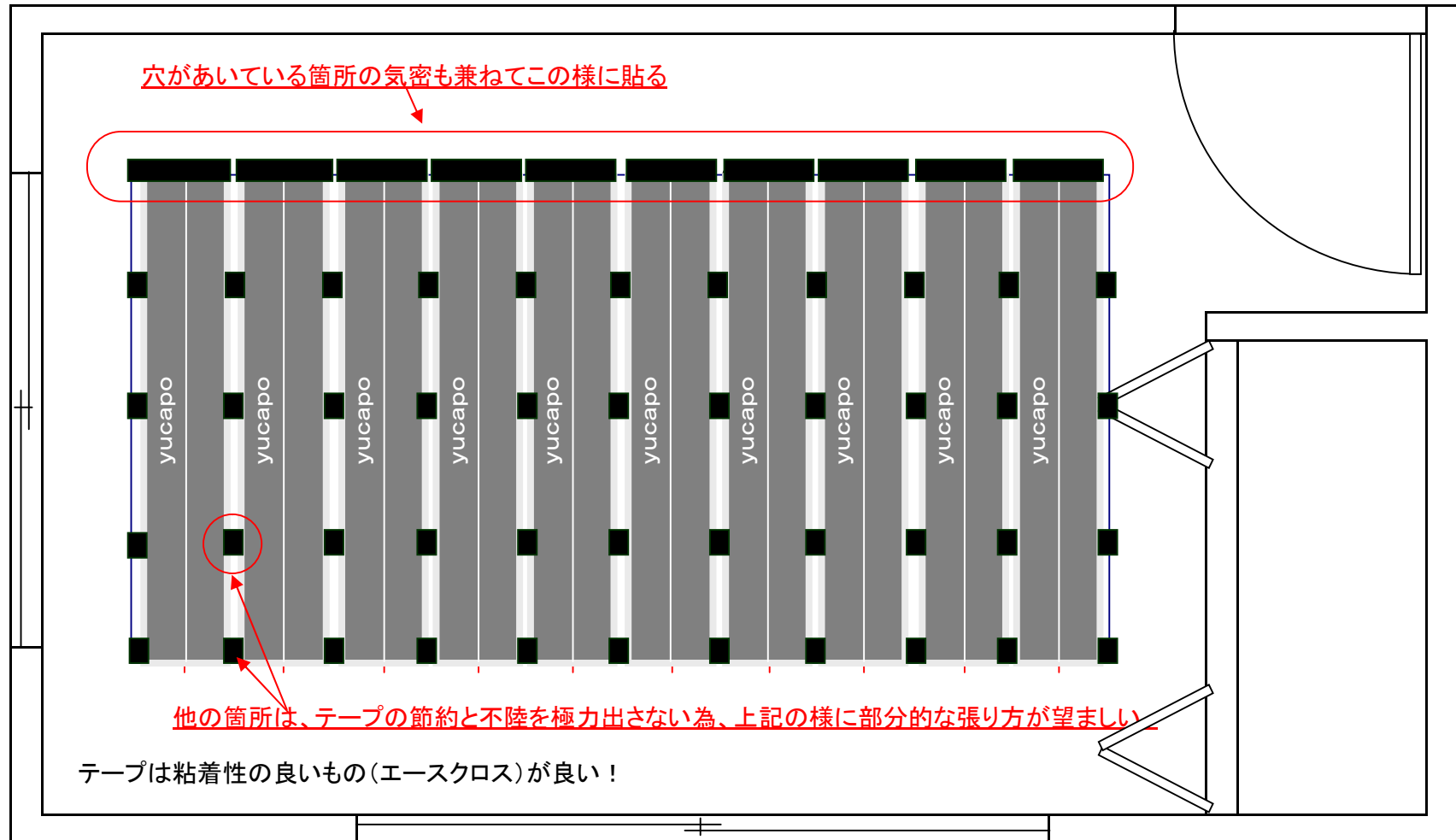


yucapoの梱包を開けて、検品をして下さい。  
プラン通りの内容物になっているか、破損は無いかを確認。

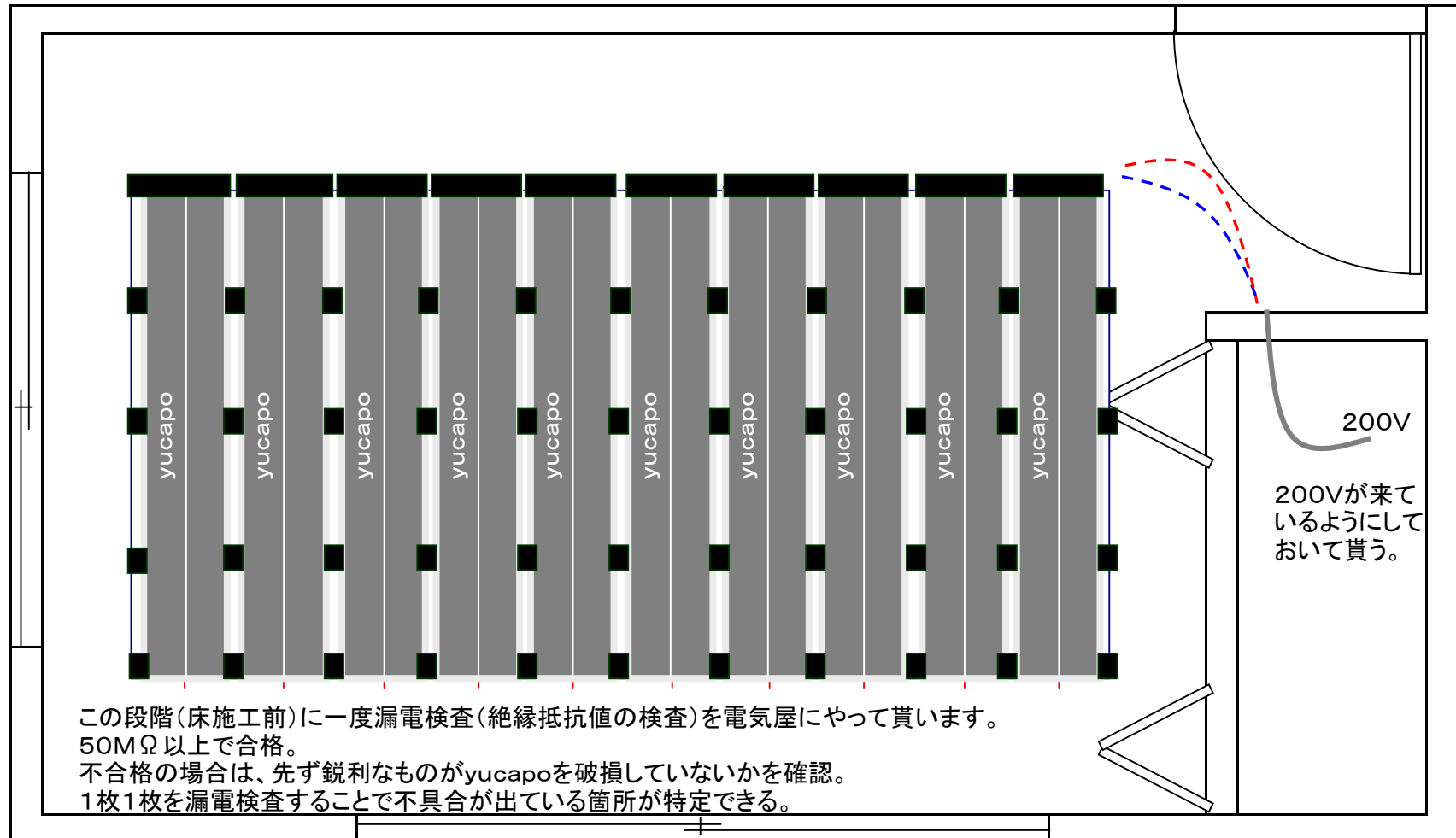




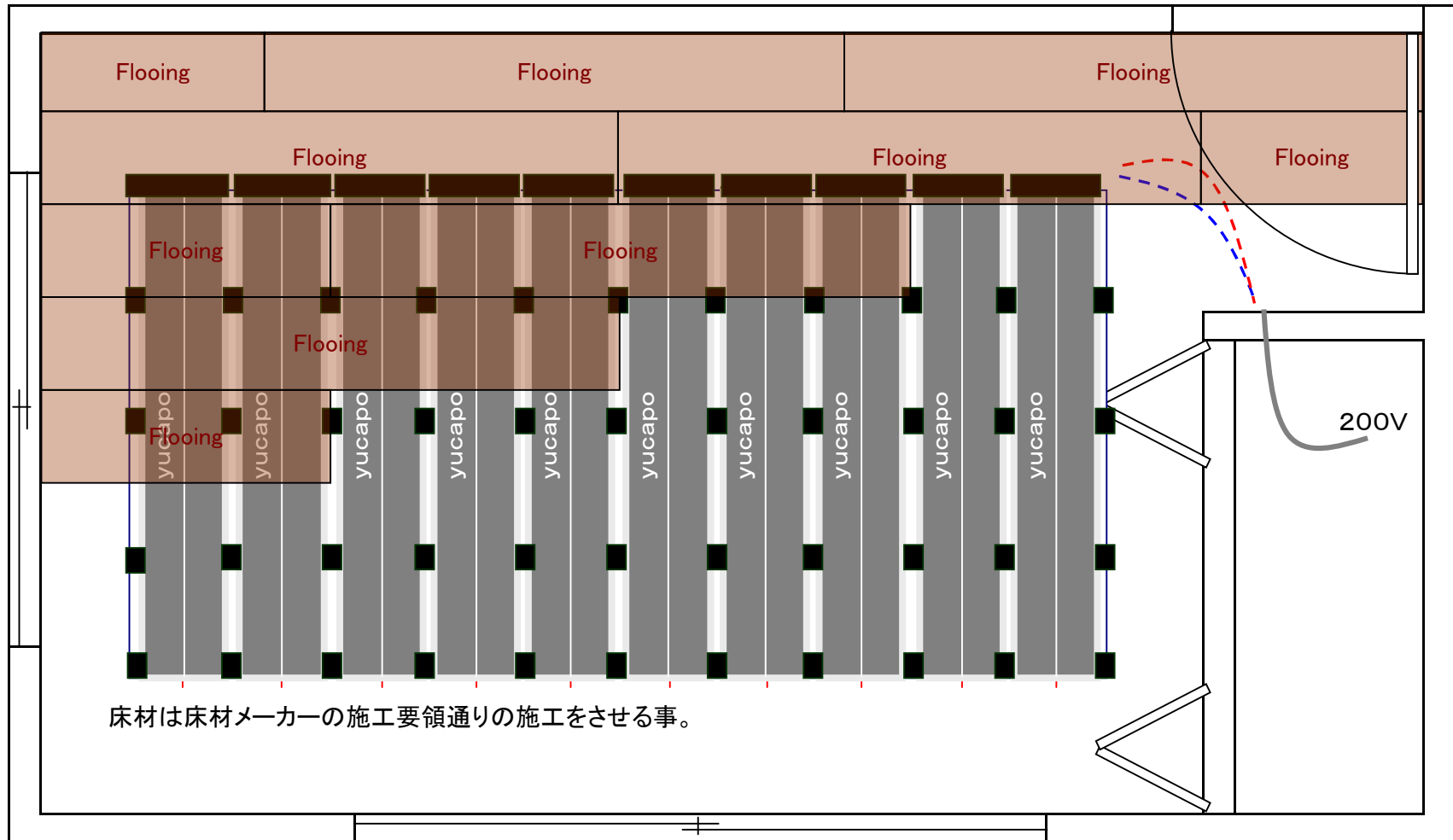
エリア全体にキレイに収まっているか、yucapo同士の間隔は均一かを確認して、テープで固定をします。



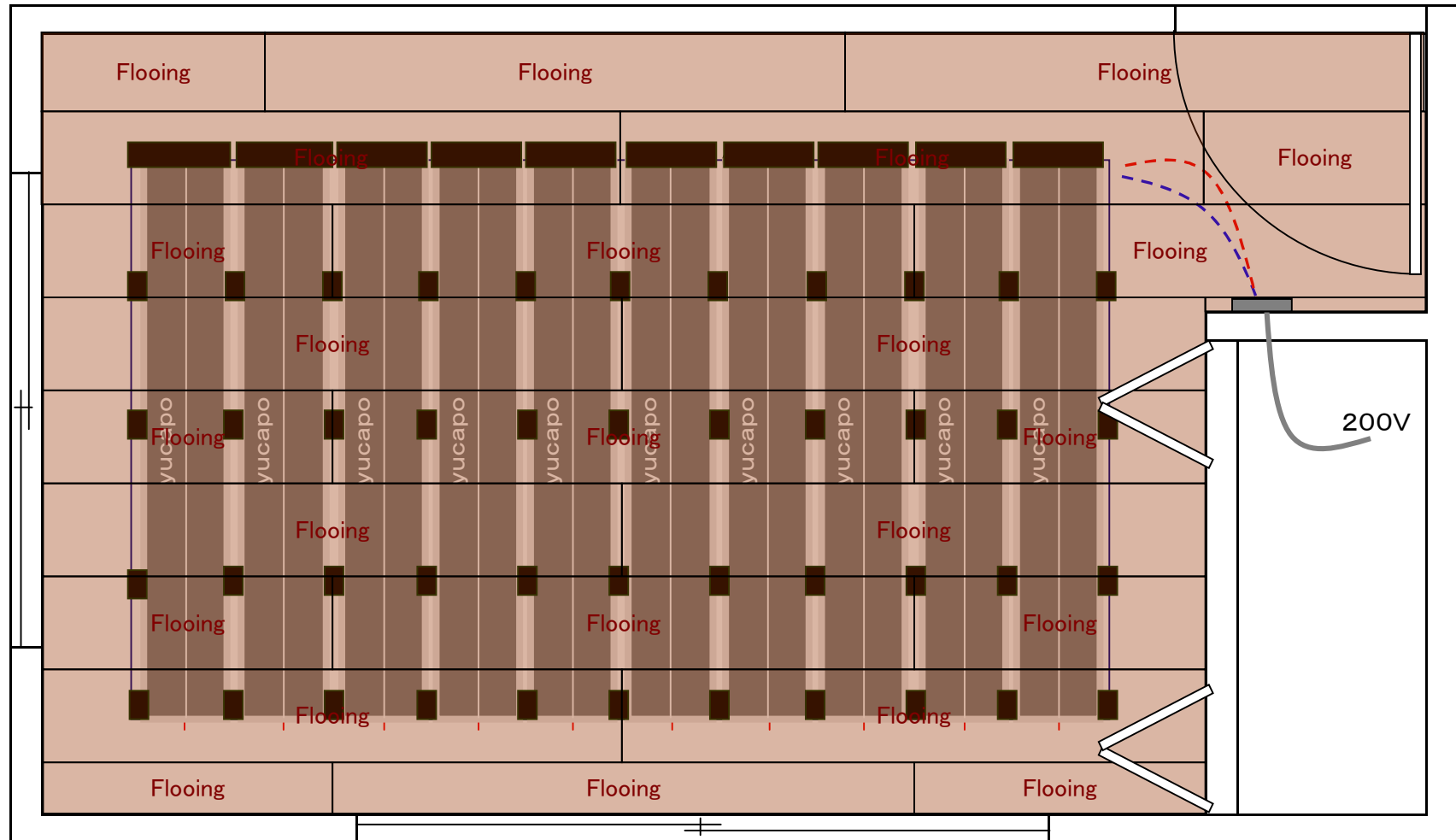
電気屋が床下に潜り、各yucapoの線を接続して、コントローラーの取り付け位置まで線を持って行く。この段階ではコントローラーまでの接続は出来ない事が多い。



漏電検査の合格を確認してから、床材を貼り始める。



床材施工後に再度漏電検査(絶縁抵抗値測定)を行い、合格すれば終了。  
保証書発行手続きを取る。



床材は床材メーカーの施工要領通りの施工をさせる事。

以上